



2019年5月9日

各 位

会 社 名 株式会社アドバネクス

代表者名 代表取締役会長兼社長 柴野 恒雄
(コード番号 5998 東証第1部)

問合せ先 代表取締役常務最高財務責任者 大野 俊也
(TEL. 03-3822-5865)

特別損失の発生および通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失の発生、および2018年11月12日に公表しました2019年3月期の通期連結業績予想値と実績値との差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 特別損失の発生およびその内容について

当社は2016年12月にインドネシアのPT. Yamakou Indonesia(現 PT. Advanex Precision Indonesia)の全株式を取得し、2017年1月から子会社化していました。同社は当社グループ入り後、当社の生産管理や品質管理のノウハウを導入し、顧客の信頼を回復したことから新規ビジネスの引き合いが増加しており、2020年3月期以降は黒字化する見込みです。しかしながら2017年1月から2018年12月の2年間は改善効果が現れる前の段階であったこと、当初見込んでいた量産の計画が遅れ予定していた収益が確保できなかったこと、材料費の高騰と現地通貨安がマイナスに影響したことなどから、業績が低迷していました。つきましては「固定資産の減損にかかる会計基準」に基づき、2018年12月までの投資額と投資期間全体を通じた回収額について比較した結果、のれん代の67百万円を減損損失として計上することになりました。また、固定資産の処分損、アメリカ子会社(Advanex Americas, Inc.)における和解金などを含めると2019年3月期における特別損失の発生額合計は1億21百万円となりました。

2. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 2019年3月期通期連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 21,200	百万円 100	百万円 180	百万円 30	円 銭 7.34
実 績 値 (B)	20,967	66	69	△107	-
増 減 額 (B - A)	△233	△34	△111	△137	-
増 減 率 (%)	△1.1	△34.0	△61.7	-	-
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	20,294	259	237	49	12.21

(2) 差異が生じた理由

上述の特別損失に加え、埼玉工場やメキシコ工場などの新工場における先行投資の負担増加、米中貿易摩擦を起因とする中国国内市場の景況悪化による中国子会社の売上減および収益の悪化などから営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益は前回予想を下回る結果となりました。

以上